



ながら全てのの人に万全の効果が出るなんてことはありませんけど。

全く動けなくなった方が、歩いたりできるようになり、穏やかに過ごせるようになった例を雑感として書いていました。薬は「毒をもって毒を制す」というものです。もちろん成果はあるのですが、副作用はつきものです。それが多量の薬の服用となると…

また、ある本で、偽薬の効果について書いてありました。特に薬の成分も入っていない小麦などを「これはすごく良く薬です」というと効果が出る方もいるというのです。人間は予見する動物なので「これを飲めば治る」という予見をすれば体も反応するということらしいのです。残念

僕たち歯医者はいくつも薬を出すことありませんが(せいぜい1、2種類)、内科の先生などは何種類もの薬を処方します。薬の数を増やすのは難しくないそうですが、減らすのは勇気がいるそうです。だったら、偽薬も使ってうまくできないのかなあなどと考えてしまいます。問題は、患者さんを信じ込ませる演技力があるかどうか…。まさに嘘と本当の紙一重！

口腔ケア用ウェットティッシュ

これはマイブームです。訪問先などで口腔ケアに使うウェットティッシュ。いろんなメーカーから出ていて千差万別。以前からお口の中のマッサージはしていたのですが、ウェ

ットティッシュを指に巻いてマッサージをするとそれなりの刺激が行くのです。もちろん痛みではなく。

先日、そんなウェットティッシュを販売しているメーカーの方とお話しする機会がありました。僕はどのメーカーにもそんなに差があるようには感じていなかったのですが、布の特性、薬品の種類、そしてそれを入れておくためのケースやパッケージ。いろんな要素が含まれており、新しい商品開発も進んでいるとのことでした。もちろん売れる商品の。

僕たちはメーカーではないので「へえ〜」って感じでしたがどの業界も大変なんですね。僕もいくつか意見を出させていただきましたので良いものができることを祈っています。